

自分のやりたいことを追求しているうちに、突然「自分でも、まさかな」とは思ってもみなかった。社長のポストに！。

中国のテレビ局「中国中央電視台」(CCTV)の番組を日本の衛星放送(CS)に配信する会社の社長に就任するまでの経緯は彼女らしさ、そのものだ。一本のドキュメンタリーを手掛けたことがきっかけになった。

日本の商社に就職して間もない一九九五年夏、生活苦にあえぐ在留中国人男性に出会った。日本になじめず、ばくちにのめり込む妻、その妻の家出…。

「男性があまりにかわいそうで、日本で生きる中国

人を記録しよう」と思い立った。だが金もカメラも技術もない。

「一度決めたら、周りの言うことを聞かない性格なんです。〇・〇〇一パ



衛星放送の新会社「大富」の社長に就任した中国人女性

張 麗 玲さん
ちょう れい れい



「セントの可能性があればかけてみる」

企画書を書き、テレビ局に協力を求めて歩く一方、毎晩、仕事が終わると不法残留者や留学生らを追いかけた。

来日以前、北京では女優をしていた。端正な顔立ち、きゃしゃな体つきはどこからこんなパワーが生まれてくるのか。

ドキュメンタリー制作への協力を仰ぎに出向いたCCTVから日本での提携先を探してくれとの依頼があり、自分の勤める商社に紹介。その後は

制作で世話になっているフジテレビと合併事業化へと、話はほとんどん拍子で発展した。

「いつも先のことは気に張りたい」

八九年来日、三十歳。浙江省出身。